

そうじの力だより

VOL.232



支援レポート

環境整備に終わりはない
改善のネタは、あちこちに転がっている

東京都中野区の株小原建設。注文住宅を請け負う住宅事業部と、高層鉄筋コンクリート建築物を扱う特建事業部を擁する、社員三十六名ほどの会社です。

同社で、私がお手伝いしている環境整備の取り組みをはじめから、もう十四年が経ちます。

当初は、モノが多く、倉庫には資材が山積みされ、事務所のデスク上には書類が積み上げられていました。

二年間、毎月訪問し、研修会を開催。不要なものを徹底して捨ていき、劇的に変わっていききました。

また、視認性をよくし、アクセスを早くするために、キャビネの扉を取り外し、コミュニケーションをよくするために、社長室入口のパーティションを取り外したことで、オープンで風通しのよい社風ができてきました。

今では、私が支援する企業の中でも、一位二位を争うほどの環境整備の優等生です。

今でも、年に数回訪問して、全員を



既に十分整っている棚ですが...

対象に研修を行っています。

先日行われた研修会のテーマは、「棚の環境整備」。

事務所の棚に収められている各種の書類やカタログ、サンプルなどを、あらかじめ整理・整頓し、より使い勝手のよいものにしよう、という実習です。

棚の中身を、いったん全部出して、要るものと要らないものに仕分けし、要らないものは捨てて、要るものは、背表紙に必要情報を追加したり色分けしたりして、わかりやすく配置しなおしました。

総務



不動産の書類を、いったん全部出して確認

部門において、自社で取り扱っている不動産関連の書類を、あらかじめ見直して、必要のない書類や、取扱い方法がわからない書類も出てきて、それらを社長に確認しながら、整理していききました。

住宅事業部では、カタログの整理を行いました。かつては使っていたものの、ここ数年は使っていないカタログを選別して、処分しました。最近では、ネット

でカタログを見ることもできるのでも、そういったことも加味して、残すカタログを厳選しました。



カタログ類をいったん全部出して整理

壁材や床材のサンプルも、かさばるので、よっかいなものです。いったん全部出して、整理しました。

サンプルも、年度が変わると廃番になったり、仕様がかわったりするので、定期的なメンテナンスが必要です。おかげで、パンパンに詰まっていた棚が、余裕のある空間に生まれ変わりました。

環境整備を一四年間続けてきた会社においても、この



今では再生装置もないフロッピーディスク...

ここでのポイントは、これらの「気持ち」を、どう仕組みに落とし込むのか、です。そのために、実習後に、各業務グループごとにミーティングを行い、ルー

ル化することや業務にどう組み込んでいくかを話し合ってもらいました。

その結果、
・カタログは、ネットで閲覧できるものは捨てて、ネットで見れないもののみ、紙で残す。

・サンプルは、よく使う定番メーカーのものに絞って常備しておき、それ以外の特殊なものは、都度取り寄せる。

・不動産書類は、種類ごとに保管期限を決めて、保管する。

など、様々な意見が出てきました。細かい手順やルールについては、別途、関連の会議体などで詰めることになりました。



ミーティングで仕組み化について話し合う

環境整備は、一度仕上げた、それで終わりということではありません。高いレベルに到達したとしても、まだまだ改善の余地があります。また、どうしても人間のすることなので、再び乱れる部分もあります。

うまずたゆまず続けていくことこそ、環境整備の神髄なのです。(小早)

企業・団体の研修や講演を承ります。目的や対象者に応じて、時間や内容をカスタマイズできます。まずはホームページをご覧ください。



コラム

人を幸せにする経営計画書
～社長の想いを明文化する～

先日、島根県益田市の会計事務所、(株)ビジネスプランの経営計画発表会で、『そうじの力で会社が強くなる～環境整備を通じて経営改革のススメ～』と題して、基調講演をさせていただきました。

私の講演が約九〇分で、その後、同社の安野広明社長から、経営計画書の説明が九〇分、という、ボリュームたっぷりの内容でした。



安野社長による経営計画書の説明

安野社長は、税理士と公認会計士の資格をお持ちで、東京で修行された後、郷里に戻り、お父上が創業された同社を引き継がれた、勉強熱心で実直な方です。同社の経営計画書の内容が素晴らしく、感銘を受けたので、印象に残った点をかいつまんでご紹介いたします。

なお、同社がこの発表会を開催する意義について、安野社長は、「常々クライアントさんに、経営計画書を作成しようとお勧めしているのですが、まずは自社がお手本を示すべき」とのことです。

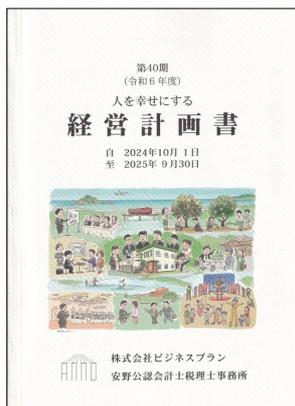
・経営の基本姿勢Ⅱ規模は追及しない。徹底して質を高めることで、縁ある方々の幸せを追求する。

・事業の定義Ⅱ会計事務所から視点提供業、希望提供業へ(転換していく)。

・社員の処遇Ⅱ地域や業界平均以上の給与を実現する、長時間残業をなくす、終身雇用制とする……

・一般的な会計事務所は、量を追求し、どう儲けるかと発想し、社員には技術教育のみを施す。わが社は、質(幸せ)を追求し、どうあるべきか(理念)を発想し、社員には人間性教育を施す。

・事業の柱Ⅱ①人財力、②あんの式決算書、③経営計画書(毎日の朝礼・挨拶・掃除の徹底、毎月の社内木鶏会を継続し、社員の人間性で差別化する。)



60ページ以上に及ぶ経営計画書

・戦略Ⅱランチエスター戦略Ⅱ一点集中主義(深く穴を掘れば、穴の直径は自然に広がる)、商品客層・地域を絞る(中小企業と屏風は広げると倒れる)。

・環境整備に関する方針Ⅱ「形」から入って「心」に至る。環境整備の目的は、よい社風をつくり、社員の人間性を高めること。きれいなところに人は集まり、人の集まるところに価値が生まれる。

ちなみに、経営計画書の表紙に描かれた絵は、同社の目指す未来をビジュアルで表したものだそうです。安野社長の熱い想いが、明確に伝わってきますね。(小早)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！

編集後記

街で見かけた環境整備

牛井の「松屋」に入った時のこと、テーブル上のドレッシングを取ろうとして、「ん？」と気づきました。

醤油やドレッシングなどが載ったトレーに、「しょうゆ」「ゴマドレッシング」などと書かれた丸いシールが貼られているではありませんか。

そう、これはまさしく環境整備の「定位置化」の手法のひとつ。こうすることで、無理なく客が元に戻すことができます。実は社会のいろんなところで、環境整備は生かされているのですね(^^) / (小早)



飛鳥のつばやき

推し活

長男1年生、初めての小学校の運動会でした。

子供たちの一生懸命な姿に、最初の応援合戦からもう涙腺が大変なことになってしまい、「こんなすごいものタダで見させてもらっているんですか…？」という気持ちに。

今まで「推し活」という言葉がイマイチわからなかったのですが、「推しが尊い」というのはこれか…！とものすごくしっくりきました。笑

がんばる子供たち、みんな推し！！(>▽<) (大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨く、
日本で唯一の研修会社

弊社は「そうじ＝環境整備」を通じ

た「企業風土改革」を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を原則としますが、状況とご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)